

外来

高 勝義

私の外来は月曜日と金曜日の午前中である。当院の外来診察開始時間は9時からであるが、私の外来患者さんが多いこともあり、いつの間にか8時半から外来を始めるようになってしまった。患者さんサービスという名目もあるが、昼の12時には終了し、昼食をゆっくりとりたいためでもある。朝まず一番、予約患者さんの数を見て、今日は少ないのでゆっくり診察が出来るな、今日は多いので、無駄口はしないで急いで診察しないと遅れるなとか、まず、今日の診察の心積もりをするのである。

学校や会社に行く前に訪れる患者さんは、私の独断で少し早めに診てあげるよう配慮をしている。自分より遅く来た人が、何故自分より早く診てもらおうのかと、時に怒る人もいる。そんな時には、「ごめんね、あの人は少し急ぐので、早く診てあげましたよ。もし貴方がそのような時には、同じようにするからね」と、あやまることにしている。そうすればもう、誰もそれ以上は文句を言わなくなるのである。

外来には実にさまざまな患者さんが訪れる。私が顔色を見たり、患者さんのお話を聞いたり、お腹を触ったりして、「いいですね、全く心配ありませんよ」という言葉を聞くために訪れる人。診察のついでに、家の中の姑や旦那や子供の事などを話して満足して帰る人。自分自身愁訴が多く、どうしようもないことを知りながら、一人で四つも五つもいつも同じような愁訴を訴えて帰る人。薬が大好きで、私にはどうでもいいと思える薬を、いつもありがたく大切そうにもらって帰る人。癌手術後の定期検査で、「異常全くなし」と言われ、これでまた1年命が延びたわいと、喜び勇んで帰る人。実にさまざまである。

この様に実にさまざまな患者さんではあるが、ただ一つ一致しているところがあるようである。どんな患者さんも、病院に来て診察を受けることによって、患者さん自身が安心感を得たいと思っていることである。だから、私は外来では、出きるだけ大きな声で話をし、前より良くなった人はもちろん、変わりの無い人にも「いいですね」と元気に声をかけるようにしている。

また、私自身出来るだけ元気にするようにしているのである。診察している医者に元気が無く、暗い顔をして、どうして患者さんに安心感を与えることが出来るか。私が外来に立つ間は、自分自身の体を鍛え、何時も心の中に心配事を持たないようにしていなければならないようである。(山下病院 院長)

「市民協愛知」発足

このほど、愛知県内の福祉系NPO法人9団体が「市民協愛知」を発足させました。

この会の目的は、安心して暮らすことのできる地域社会を作るために、それぞれの地域で非営利を目的とした暮らし助け合い活動を行います。

またお互いの団体の活動の情報を交換することで、それぞれの地域での活動の質をさらに高め、一層の地域貢献を実現することを目的としています。

当会も参加団体です。よりよい活動につなげられる市民協愛知に期待したいと思います。

第1回の勉強会は移送サービスについて  
今後の予定勉強会は

- ・サービス提供責任者の質の向上
- ・労働関係諸規定の整備
- ・給与問題
- ・介護保険と枠外を含めた自己評価と第三者評価の整備
- ・感染症対応マニュアル

ミニデイサービス便り

出前手打うどん

「タン・タ・タ・タン・タン・タン・ソーレ」と朝から賑々しく掛け声がかかっている。

デイサービスは、うどん打ちの真っ最中である。利用者さんがそれに注目しながら、竹と太鼓を打ち鳴らし、掛け声で声援を送っている。

中央の机には、うどんの生地をこねる人、それを伸ばす人、切る人が汗だくで奮闘中である。寒い日にもかかわらず、部屋の中は熱気ムンムン。会員さんの男性1人と女性3人。

いずれも年期の入った手つきで、道具も腕も勿論プロ並。大変力があるこねる作業。利用者さんにどのくらいのこね具合なのか触って、感触を確かめてもらう。「ふーん、耳たぶの感じかしら、おしり位の弾力?。」で爆笑。

これを伸ばすのも大変だ。本格的な伸ばし棒で何回も何回も厚さを均一になるまで伸ばしていく。これを、扇子だたみにし、あの歯の大きなうどん切り包丁で同じ太さに切っていく。

「がんばって!。厚い厚いもっと細く細く」何もしない外野が声を出す。

身を乗り出すようにみんな手元に注目だ。

その間に、厨房ではうどんのつゆと副菜のかき揚げ、野菜の煮物、おにぎりを用意。

そして、出来上がってきたうどんを時間とにらめっこでゆでる。

ネギとかまぼこと花かつをだけで、さあ、食べます。「美味しい!やっぱり違うね。お出しもいいねえ。ほんと、美味しいねえ」が連発。

目の前でうどん打ちに、自らも作ったような気分。食を満たすとは精神を満たすこと、どの顔も本当にいい顔。

ご指導くださった熊田さんありがとう。

デイの食事スタッフの皆さんお疲れ様でした。

暮れの行事

暮れも近くなり、昨年に引き続きしめ縄作りが行われた。ご指導下さったのは86歳の小島さん。ワイワイガヤガヤ、先生の力を借りながらなんと立派なしめ縄が出来上がりました。

新しい年を、また自作のしめ縄で飾れます。小島さんは「では又来年お目にかかりましょう」と言葉を残された。本当ですね、又来年も。

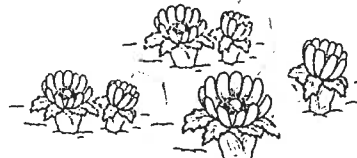
12月26日今年最後のミニデイでは、お飾りを手作り。毎年、必ずやって来る年の瀬。準備は出来ました。どうぞ良いお年がきますように。

平成15年1月のミニデイサービスは、

保育園 1月9・23

事務所 1月7・14・16・21・28・30

あいちNPO交流プラザ開設  
この度、NPOについての広域的な情報・交流の場、NPOと行政、企業との協働・連携の拠点として、あいちNPO交流プラザが開設されます。これは、愛知県がNPO活動を推進するため、愛知県東大手庁舎(旧総合保健センター)に開設。NPO申請相談室など設けている。(一月十三日オープン)



1月の予定

- 5日(日) 会報「まごころ」発行 定例会(協力会員・ふれあい広場)
- 6日(月) サービス提供責任者会議
- 7日(火) ミニデイサービス・ミニデイ委員会 (場所・事務所)
- 9日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)
- 10日(金) 住民参加型セミナー委員会 県社協
- 13日(月) サービス提供責任者会議 あいちNPO交流プラザ開始
- 14日(火) ミニデイサービス (場所・事務所)
- 16日(木) ミニデイサービス (場所・事務所)
- 20日(月) サービス提供責任者会議
- 21日(火) ミニデイサービス・ミニデイ委員会 (場所・事務所)
- 23日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)
- 27日(月) サービス提供責任者会議
- 28日(火) ミニデイサービス (場所・事務所)
- 30日(木) ミニデイサービス・ミニデイ定例会 理事会

知的障害者・児へのふれあい広場

- \*ふれあい広場絵画教室 毎週土曜 午後1時~4時
- \*ふれあい広場のつどい 毎月第3日曜 午前

毎週月・水・金 ふれあい広場(場所・事務所)  
毎週火曜 太極拳 午後4時~5時

2月のまごころ定例勉強会案内  
日時・平成15年2月2日(日)  
午前10時30分~12時30分  
場所・「ふれあい広場まごころ」  
講師・訪問看護ステーション・アウン野田 明美さん  
内容・①在宅介護とは ②在宅看護の現状について



11月会員登録状況

協力会員	43人
利用会員	52人
賛助会員	127人
計	222人

11月有償活動

在宅活動件数	15件
活動人数	24人
ミニデイサービス利用者	70人
移送サービス利用件数	61件
ふれあい広場	8日間
助け合い活動時間	304.5 時間

11月介護保険訪問活動

訪問件数	55件
家事	714.5 時間
複合	427 時間
身体	213 時間
合計	1354.5 時間

2月の定例会

場所「まごころふれあい広場」

在宅支援・2月2日(日)	9:30~10:30
勉強会(在宅介護と職)	10:30~12:30
ふれあい・2月2日(日)	13:30~15:00
ミニデイ・2月27日(木)	16:00~17:00

☆在宅支援定例会の午前はケアがお休みです  
利用者さんご承知下さい。お願い致します。